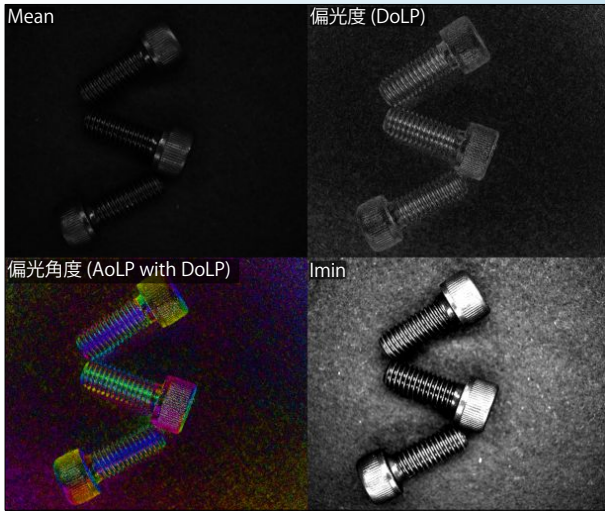


偏光演算処理制御ソフトウェア LPView

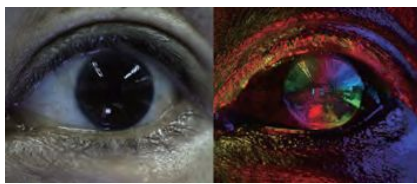


黒地に黒ネジを置いたものです。元画像（左上）では何が映っているか判りませんがImin（右下、HDR処理あり）ではネジ山までくっきり見えるようになっています。



LPView操作画面

この例では異なる向きの面への映り込みを一度に軽減しています。（右下diffuse画面）



カラー原画像 偏光角度画像
（色で偏光角度を表現）

偏光角度は対象面の方位角を反映しており3次元形状の把握に役立ちます。

偏光カメラは輝度情報と偏光情報を提供できるだけではなくありません。偏光情報を利用するとこれまで直反射等が原因で失われていた画像情報を取り出せるようになり、画像処理の可能性を広げます。LPViewは偏光カメラから得られる偏光情報をリアルタイムで表示し保存します。

特長

- 偏光カメラの制御・偏光パラメータの計算・画像化・リアルタイム表示
- 偏光画像の連続保存・スナップショット保存可能
- 直反射の軽減・強調など画像処理の補助に利用可能
- 表示画像のHDR処理などリアルタイムで確認可能
- ステレオ化も可能



偏光カメラ
TritonPOL



仕様

基本機能	偏光カメラの制御 偏光画像取得 偏光情報計算 偏光情報画像化・表示 偏光画像連続保存	画像表示	0°・45°・90°・135°・Mean画像 (Meanは標準カメラ相当) DoLP・AoLP・Imax・Imin (diffuse成分) Imax-Imin (Specular成分) カラー化可能な部分はカラー表示
フォーマット	8ビット/ピクセル・12ビット/ピクセル	保存	連続・スナップショット
フレームレート	最大22fps	付加機能	画像のHDR表示
計算量	偏光度(DoLP)・偏光角度 (AoLP) Imax・Imin・Imax-Imin	動作環境	Windows 10 Pro 64bit 連続保存ストレージにはSSD推奨